

留学報告書

・留学について

私は 2022 年秋学期、8 月 31 日から 12 月 19 日まで約 100 日間、オーストラリアのグリフィス大学で留学をしてきました。学校の制度の一つであるセメスター留学制度を利用し、語学学校で語学の勉強をしながらホームステイをし、海外での生活を経験してきました。以下に詳しくまとめようと思います。

・留学生活の振り返り

-学習面

今回の留学で、英語の実力は確実に伸びたように感じます。語学学校に通うことで、英語の四技能をしっかりと伸ばすことができました。私の通っていたグリフィス大学は語学学校と大学がつながっているため、クラスが上がれば上がるほど、専門的な英語を学ぶこととなりました。日本にいたときには学ぶことのできなかった、本格的な現地の学生が取り組んでいるような内容を学習できたことは、今後の英語勉強に大きくつながっていくと思います。

その中で、一番伸びたのはスピーキング力です。今回の留学に向けて、出発前からテレビ電話などを使いスピーキング力の向上に努めていたこともあり、ついた時から何もわからなくて困るといったことはなかったように感じます。そのかいもあり、自分の能力に関係せず、英語を話すことへの自信があったため、怖がらずに英語を話せたのは大きく成長した要因の一つであると思います。二か月を過ぎたころには、英語でのコミュニケーションを楽しむことができるほどの力がついてきて、先生や友達との会話の中でワードを盗んだり、真似してみたりなど、勉強としてではなく、コミュニケーションツールとして英語をとらえることができるようになりました。

また、スピーキングの次にライティングのスキルも身につきました。日本にいたころにはほとんどライティングをした経験がなく、構成すら知りませんでしたが、毎週のライティングテストが重なり、最後の週には最高評価をもらえるほどに成長しました。この経験を生かして、IELTS などのテストにも取り組んでみたいと思います。

-生活面

日本から離れ、オーストラリアでの生活を経験する中で、多くの変化を感じることができました。その要因としては、海外の人と話す中で、異文化に触れ、自分の常識との違いに驚き、新たなことに気づかされ、数えきれないほどの発見ができたことです。日本にいたころから積極性に関しては自信がありましたが、オーストラリアでの生活を経験し、さらに

積極性が増したように感じます。英語を学ぶための留学としてオーストラリアにいきましたが、結果的には英語以外の自分の考え方を変えるようなとても良い留学になりました。

また、オーストラリアにはいろいろな国の出身の人がいたため、あらゆる国の出身の人と意見を交換し、友達になり、サッカーや共通の趣味を通して交流することがとても良い思い出になりました。海外の人とサッカーをして楽しむというのは、自分の一つの夢であったため、その夢をかなえることができたことでより留学生活が充実したものになったように感じます。私の場合は、ホストが日本人の人であったため、ネイティブなオーストラリアの生活を体験することはあまりなく、ご飯も日本食に近いものを多く食べることがありました。最初は、戸惑うことも多く、海外の体験をしてみたいと学校に相談することもありましたが、今思うと、ホストの大きな支えがあっこそ、自分の留学が価値のあるようなものになったように感じます。

留学生活のまとめ

今回の留学は自分にとって人生の大きなターニングポイントになった留学でした。今まで日本でずっと暮らしてきた中で積み上げられてきた自分の考え方や価値観、将来への展望など、すべてが大きく変えられるとても濃い四か月間の留学であったように思います。今回の留学は、自分の人生の中で、一番大きな決断といっても過言ではない大きなチャレンジであったと思います。日本に帰ってきた今思うことは、この海外生活は決断してよかったと思えるほど充実したものであったように思います。